

A Fundamental Study of a Curriculum Focusing on Making Music  
A Survey about Children's Interest in Making Music  
in the Elementary School affiliated to the Faculty of Education of Kochi University

YAMANAKA Aya and NAKAYAMA Noriko and MASHIMA Yuriko and WATANABE Miki

音楽づくりを中心としたカリキュラムの基礎的研究  
－高知大学教育学部附属小学校児童の  
音楽づくりに関する関心調査から－

山中 文・中山 典子・間島ゆり子・渡邊 美樹

論文

## 音楽づくりを中心としたカリキュラムの基礎的研究

-高知大学教育学部附属小学校児童の音楽づくりに関する関心調査から-

A Fundamental Study of a Curriculum Focusing on Making Music  
A Survey about Children's Interest in Making Music  
in the Elementary School affiliated to the Faculty of Education of Kochi University

山中 文 (高知大学人文社会科学系教育学部門) <sup>1</sup>

中山典子 (高知大学教育学部附属小学校) <sup>2</sup>

間島ゆり子 (高知大学教育学部附属小学校) <sup>2</sup>

渡邊美樹 (高知大学教育学部附属小学校) <sup>2</sup>

YAMANAKA Aya<sup>1</sup> and  
NAKAYAMA Noriko<sup>2</sup> and MASHIMA Yuriko<sup>2</sup> and WATANABE Miki<sup>2</sup>

1 Faculty of Education, Kochi University

2 Elementary School Affiliated to the Faculty of Education of Kochi University

### ABSTRACT

This study is intended to research children's interest, retention, and learning condition in making music through a survey about children's interest in making music. The survey was conducted among children of the affiliated elementary school of the faculty of education, Kochi University. It is a fundamental study focusing on making music in elementary school music classes, which is a part of collaborative curriculum study and research of educational contents in music with Kochi University researcher and the elementary school affiliated to the faculty of education of Kochi University.

In the elementary school, research classes focusing on making music are conducted every year, so all students have experience of making music. We therefore conducted the survey of every student in 2 through 5 grade in the school except for first graders, who haven't had a music making class yet, in May 2013.

Our findings were as follows: the students had more interest in the way following the clearly-stated rules than the flexible way to make music: they were motivated not only to make music but also to play some instruments: they could describe their efforts to make music with technical terms of "common subject matters".

## I. 問題の所在

本研究は、高知大学教育学部附属小学校児童に対して行った、音楽づくりに関する関心調査から、児童の音楽づくりに対する関心、定着度、学びの状況を検討するものである。これは、高知大学教育学部の音楽科教育担当教員と同附属小学校の音楽担当教員が連携して行っている、小学校音楽科における音楽づくりを中心としたカリキュラム研究及び教育内容研究の基礎的研究として位置づく。

高知大学教育学部附属小学校音楽科ではかねてより音楽づくりの授業研究を積極的に行っている。授業研究資料も1994年から残っており、例年音楽づくりの授業研究が公開されている。

音楽づくりは、学習指導要領において、1989年（平成元年）の第6次学習指導要領において、音楽科表現領域の（4）に「音楽をつくって表現する」という項で誕生した。中でも（4）の（イ）は、1・2学年で「即興的に音を探して表現すること」、3・4学年で「即興的に音を選んで表現すること」、5・6学年で「自由な発想で即興的に表現すること」と示されている。1998年（平成10年）改訂学習指導要領もほぼ同様の記述である。これら学習指導要領においては、主眼は「音楽」をつくることよりも「音」そのものに置かれていることがわかる。このことから、音楽づくりにおいては、後述するように効果音的な描写になってしまうことが課題としてあげられていた。

大きく見直しが図られたのは、2008年（平成20年）の第8次学習指導要領においてである。この学習指導要領において、表現領域に「音楽づくり」の名称が誕生し、それに関する項目が設定された。そして、たとえば、5・6学年の表現（3）イでは、「音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること」と示され、音楽の仕組みへの視点が見られるとともに、「表現すること」だけでなく、「音楽をつくること」が求められるようになった。

津田は、文部科学省初等中等教育曲教育課程教科調査官として、以下のように述べている。「音楽づくりの授業において、子どもがどうしてよいのか戸惑っている、擬音や効果音的な表現にとどまっている、時間をかけるわりには表現が深まらない、といった状況はないだろうか。このような状況は、音を音楽に構成していくための手掛かりを子どもが気づき、活用するための指導が十分でなかったことに一因があると考えられる」<sup>1</sup>。そして、そのために第8次学習指導要領で新設された[共通事項]事項アの（イ）「音楽の仕組み」が手掛かりになると述べている。

高知大学教育学部附属小学校では、このような学習指導要領の変遷の中で誕生し発展してきた音楽づくりに着目して、授業研究を積み上げてきた。その中で、どのように音楽づくりの授業が継承されてきたのであろうか。また児

童の音楽づくりに対する関心や定着はどのようなものであり、音楽づくりから何を学んでいるのであろうか。本研究においては、これらの観点から、これまでの高知大学教育学部附属小学校音楽科の音楽づくりの授業研究の所産を検証し、児童に対して質問紙調査を実施した。本稿では、そのうち、児童に対する質問紙調査の結果を検討する。

## II. 研究の方法

2013年5月、高知大学教育学部附属小学校児童に対して行った音楽づくりに関する質問紙調査を行った。児童は、入学もない1年生は除外し、2年生から6年生までの全児童である。

本稿では、調査項目のうち、以下の1～4の項目について分析する。

実施：2013年5月

対象：高知大学教育学部附属小学校児童 591名

2年生 108名

3年生 120名

4年生 116名

5年生 120名

6年生 127名

調査項目：1 これまでにどんな音楽づくりをしたか。

2 好きだった音楽づくりはどれか。

3 2のどこが好きか。

4 2ではどんな工夫をしたか。

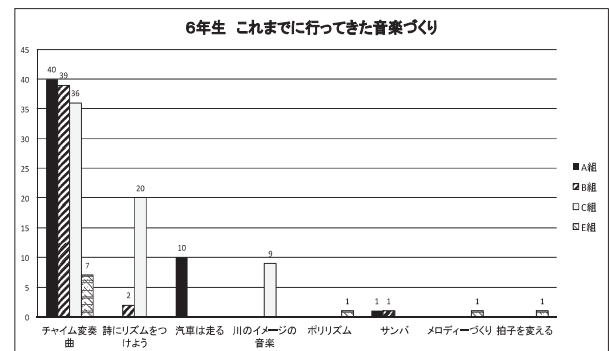
（いずれも自由回答、また1、2は複数回答）

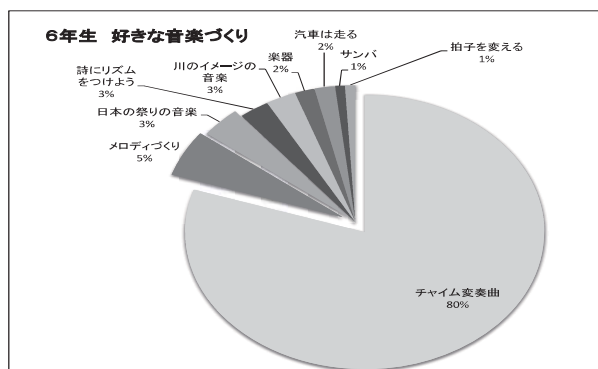
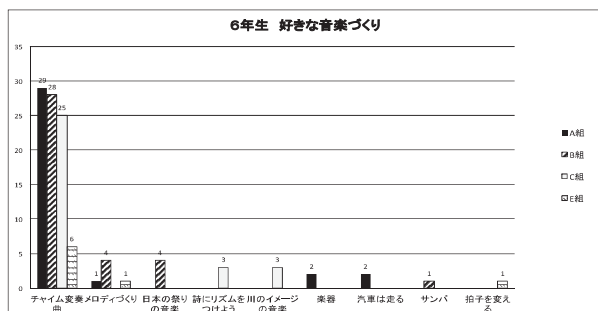
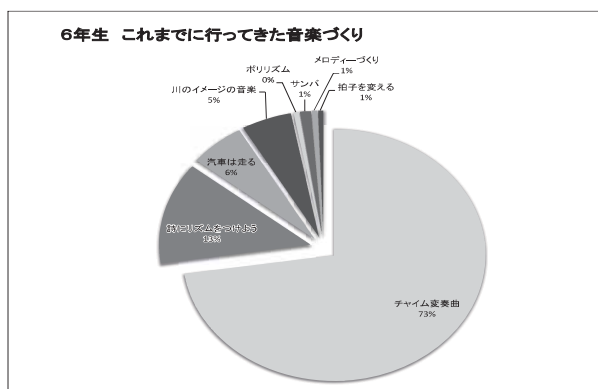
\*高知大学教育学部附属小学校は、各学年4クラスであるが、そのうち、3クラスが通常学級であり、1クラスが複式学級（1・2学年、3・4学年、5・6学年）である。複式学級のクラスだけ人数も少なく（各学年8名）、経験した音楽づくりも傾向が異なる。以下、通常学級をA～C組、複式学級の当該学年をE組と示した。

## III. 結果

### 1 調査項目1、2の結果について

#### （1）6年生の結果から





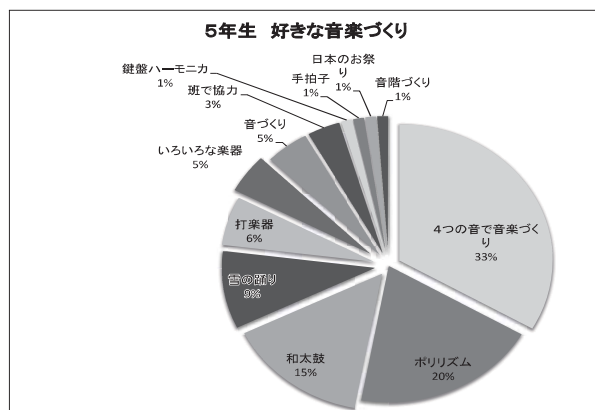
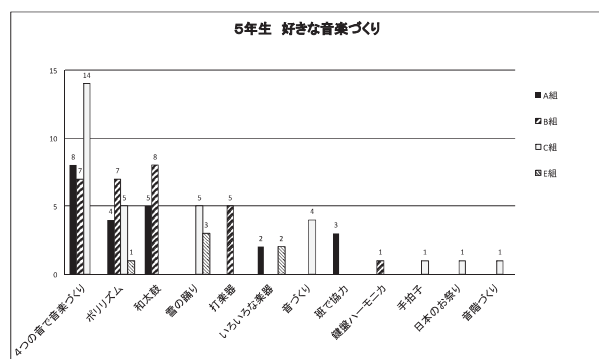
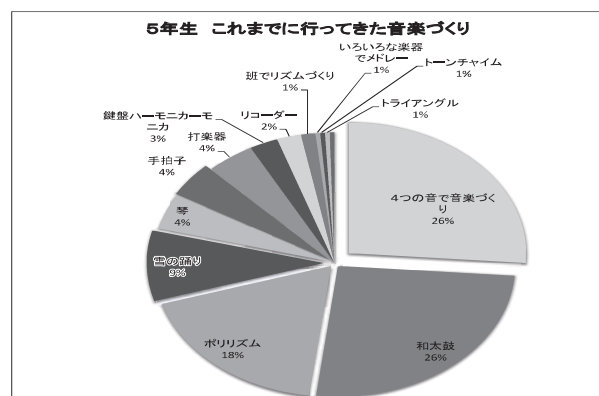
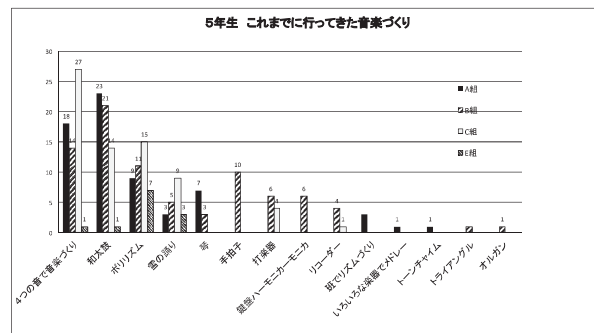
6年生は5年生時に「チャイム変奏曲」の音楽づくりを経験している。その「チャイム変奏曲」を、行ってきた音楽づくりとしても好きな音楽づくりとしても7、8割の児童が回答するという結果となった。

「チャイム変奏曲」は、小学校のチャイムを元にして、拍子を替えたり、調を替えたり、リズムを替えたりする創作を行ったあと、それをグループで組み合わせて変奏曲にしようとする授業として行われた。グループで組み合わせる中では、楽器も取り入れ、ロック風、サンバ風、ワルツ風の変奏も取り入れている。

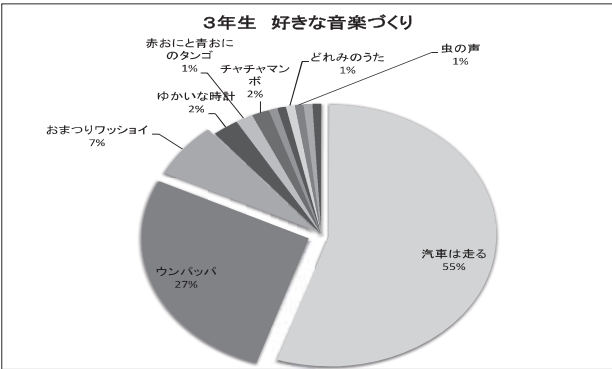
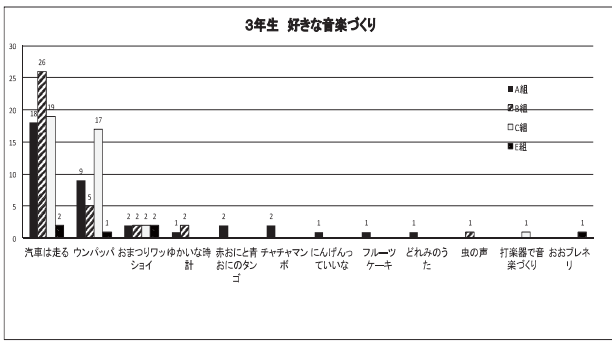
変奏曲の授業は全国的にも行われているが、変奏することが主体であり、それらを組み合わせて変奏曲とするところまで行う授業は見当たらない。今回の児童は、5年生時に、作るだけでなく、それをどう組み合わせるか、というところで活発な意見交換を行った。たくさんの楽器と組み合わせることと合わせて、印象に残った授業であったと考えられる。

同じく5年生で行われた、2位の「詩にリズムをつけよう」は、22名が行ったものと回答していたが、好きな音楽づくりとしては3名しか回答していない。

(2) 5年生の結果から





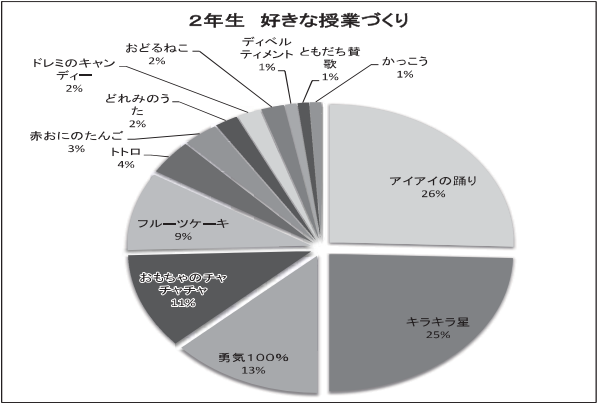
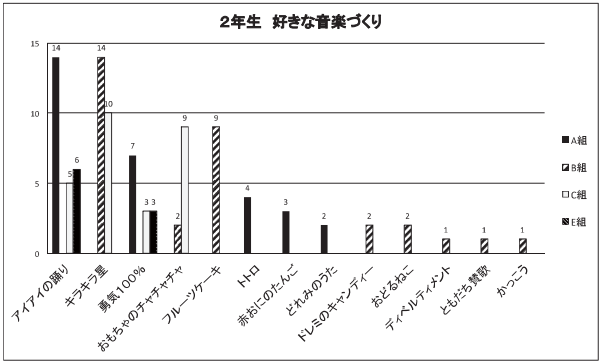
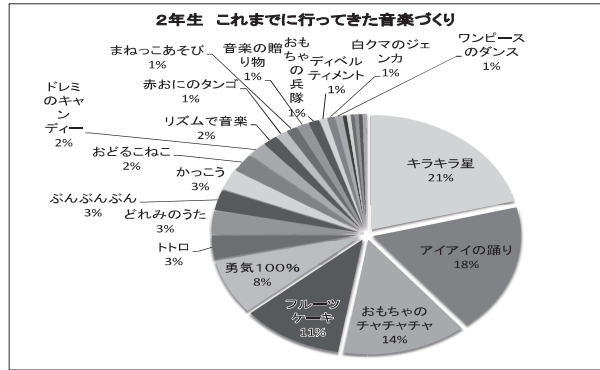
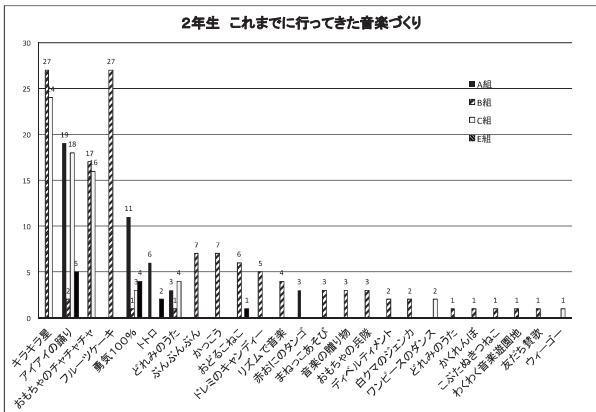


3年生で回答が多いのは、いずれも2年生で行った「汽車は走る」「ウンパッパ」「おまつりワッショイ」である。ただし、好きな音楽づくりでは、「おまつりワッショイ」の回答は下がり、「汽車は走る」が53%と半数以上の回答を占めている。

「汽車は走る」は、楽曲「汽車は走る」(岡本利明作詞・作曲、嶋田義美編曲)の旋律をもとにして、汽車が走りはじめ、トンネルや山などいろいろな情景の中を通り、終着するまでを表す音楽づくりである。

「ウンパッパ」は、児童は音楽づくりととらえているが、実際には、楽曲「ウンパッパ」(峯陽訳詞、ライオネル・パート)の歌に動作をふりつけた活動を行ったものである。音楽づくりとしてあげられている下位の回答も、動作をつけたものが多い。

(5) 2年生の結果から



2年生で回答が多かったのは、1年生時の「アイアイの踊り」と「キラキラ星」である。このうち、「アイアイの踊り」は楽曲「アイアイ」(相田裕美作詞・宇野誠一郎作曲)に動作をふりつけたものであり、音楽づくりではない。「キラキラ星」は、教科書の網目図を用いて、問いと答えになる旋律づくりなどの遊びを経て創作する音楽づくりである。「キラキラ星」と「アイアイの踊り」は、クラスによって経験が異なり、「キラキラ星」を経験したB、C組では、これまでに行ってきた音楽づくりとしても好きな音楽づくりとしても回答が多くなっている。

また、「フルーツケーキ」は、楽曲「フルーツケーキ」日向有作詞、西澤健治作曲)で行った活動を指していると考えられる。歌詞のフルーツの一部を替えて3拍子にのせて歌う等の活動があるため、創作と感ずることも想定できる活動であった。「キラキラ星」の音楽づくりを経験し、



多くの回答をあげていたBクラスの児童は、この「フルーツケーキ」の活動に対しても多く回答しており、児童らがこの活動を音楽づくりとして感じていたことがわかる。

2年生は、3年生の回答と同様に「アイアイの踊り」など動作をふりつけたものを音楽づくりとして回答することが多く、また、この他にも、好きな音楽づくりの回答に、「やまびこごっこ」や「手のひらを太陽に」（いずれも1件、グラフから省略）等があがった。

## 2 調査項目1、2の考察

### (1) 音楽づくりの定着

6年生から2年生まで、どの学年においても上位だったのは、前年度に行った音楽づくりであった。自由記述でありながら児童たちは具体名をあげて回答しており、前年度の音楽づくりをよく記憶しているということがわかる。また、5年生が3年生時の「雪の踊り」を多く回答していたように、6年生でも上位ではないが、4年生時の「川のイメージの音楽」や2年生時の「汽車は走る」をあげるなどしており、音楽づくりが学年を越えて児童の印象に残りやすい授業であったことが窺える。

2年生や3年生ではまだ音楽づくりでない活動を回答する児童も多いが、4年生以上では1、2の項目とも上位にあがっているものはすべて音楽づくりの授業であり、児童らがそれらをよく記憶していると同時に好んでいた様子が窺える。また、2、3年生は、自分たちが身体の動きなど加えた活動などを含めて音楽づくりととらえていることがわかる。

### (2) 関心をもつ音楽づくりのタイプ

また、6年生から2年生まで、最も好きな音楽づくりとしてあがったのは次のものである。

6年生「チャイム変奏曲」

5年生「4つの音で音楽づくり」

4年生「黒鍵の音楽」

3年生「汽車は走る」

2年生「キラキラ星」

「チャイム変奏曲」は変奏および変奏曲のルールに従う音楽づくりであり、「4つの音で音楽づくり」や「黒鍵の音楽」は、使用する音は異なるが、「ドローン」「パターン」「メロディー」「フィラ」に分かれて、それぞれのルールに従って創作する音楽づくりである。「汽車は走る」はこの中で唯一イメージを元にした音楽づくりになるが、汽車の出発、加速、減速、到着の様子をとらえれば、イメージを共有しやすいものになる。また、速度や強弱など、イメージを音楽の仕組みに置き換えやすい音楽づくりになったのではないかと推察することができる。2年生の「キラキラ星」もまた網目図により使用する音がほぼ固定

されており、問いと答えというルールから構成する音楽づくりである。

つまり、子どもたちが好んで活動した音楽づくりは、イメージから音楽をつくる自由度が高いものよりも、ルールにしたがって行うものであるということが出来る。5年生で、表現技術としてはむずかしい「ポリリズム」が上位にあがってきていることなどからも、その様子が窺える。

ルールにしたがう音楽づくりでは、ルールがあることで同じような規格の作品になるわけではなく、むしろルールをもとにしながら、まったく違う作品が生まれる。子どもたちにはその様子が印象的だったのではないかと推察することができる。

## 3 調査項目3、4の結果について

調査項目3、4の結果は、最後にまとめて掲載した(資料1)。3、4は、子どもたちが好きだと答えた音楽づくりに対して、「どんなところが好きか」「どんな工夫をしたか」を問うたものである。結果の表には、一番右側に、これらの回答の記載内容の種別を「創作」「活動」「楽器・創作」「その他」で示した。それらは以下のように判断した。「創作」…創作上用いた音楽の要素や工夫を記述している。「活動」…「みんなでした」「演奏した」など演奏の方に主眼を置いて記述している。「楽器・創作」…好きだった理由を楽器や音に置きながら、創作についても記載している。「楽器」…楽器に触れること、楽器の音などを好きだった主な理由にしている。「その他」…上記以外の記述。

### (1) 6年生の結果から

6年生で圧倒的に記述が多いのは、「チャイム変奏曲」であった。「チャイム変奏曲」の回答の特徴は、88の回答中、その種別が「楽器」もしくは「楽器・創作」となる回答が33あるということである。つまり、種々の楽器を扱うことが、この音楽づくりの面白さにおいて大きなウエイトを占めている。このことは、資料1中、種別「創作」に属する回答の中にも、8「いろいろな楽器を組み合わせた」や24「ロックにあっている楽器を選んだ」等、楽器を選ぶところから創作をとらえた回答があることから窺える。

また、回答の中には、トリル、リズム、メロディー、長調、短調、強弱、テンポ、タッカ、ツツチャのリズム、ハーモニー、音の重なり、三連符、八分休符等、【共通事項】の音楽の要素にかかわる用語が様々に見られる。

一方で、「川のイメージ」など、イメージを主体とした創作では、1「暗い音で川の流れを、明るい音で鳥のさえずり」「途中で大雨が来た表現」、3「川のやつがメロディーが動くのがおもしろかった」等、回答が比較的抽象的で

ある。

#### (2) 5年生の結果から

5年生の回答においても、楽器を多く使った「ポリリズム」や「和太鼓」の音楽づくりでは、「いろいろな楽器を演奏できた」等、楽器を使えた嬉しさをあげる回答が多い(資料1中、「ポリリズム」の11~14、和太鼓の3、5、11等)。特に、「和太鼓」の回答の種別はほとんどが「楽器・創作」「楽器」であり、この音楽づくりを、音楽作品の構成というよりも、楽器の打ち方の工夫による即興的表現としてとらえている様子が窺える。

また、5年生も【共通事項】の音楽の要素に関する用語をよく使用しているが、なかでも「ABAで伴奏を変えた」「4つの音で音楽づくり」の5)や「はじめと終わりに鈴をつけ、途中でパートを上と下にわけた」(同27)、「Bをゆっくりした曲に変えた」(「音階づくり」1)など、曲の形式を意識した回答が見られる。

#### (3) 4年生の結果から

4年生は、「黒鍵の音楽」ではじめて「ドローン」「パターン」「メロディー」「フィラ」の担当に分かれた創作を行っており、児童の回答にもそれらの用語が見られる。そして、12「役割を決めてつくった」「黒鍵の音楽のドローン、パターン、メロディの順にやっていく」という回答のように、それらの役割(ドローンが単純な長音価のリズムで低音を受け持ち、パターンがその上でリズムを刻み、メロディーは好きな旋律を弾く、フィラは合いの手のようにメロディーの合間に飾りを入れる)から音楽づくりをするに関心を持っていることが窺える。

「黒鍵の音楽」での役割分担は、「動物のイメージ」のようなイメージを主体とする音楽づくりでも活かされている。

#### (4) 3年生、2年生の結果から

3年生、2年生では、先にも述べたように、身体の動作の工夫をした活動も音楽づくりに含まれている。そして、そのような活動を選んだ場合、その記述は当然ながら、活動に重きが置かれている。たとえば、3年生の「ウンパッパ」では、4「ウンパッパと言うときに、手をチームで打ったり回る向きを変えたりした」、19「踊る人の分担、踊りを楽しくした、パッパで手を叩く、ウンパッパの後をなめらかにした」など、動作や表現の工夫を音楽づくりととらえている様子が窺える。

一方で、音楽づくりとして設定されていた、3年生の「汽車は走る」や2年生の「キラキラ星」の回答では、「高い音や低い音でひいて、景色が変わったようにした」(「汽車は走る」5)や「ドレミファソでつなげるところ」(「キラキラ星」11)などのように、音そのものを工夫していつ

ている様子が見られている。

#### 4 調査項目3、4の考察

##### (1) 動きの工夫から音の仕組みの工夫へ

児童の記述から、2、3年生時には音楽づくりの設定ではない活動からも身体の動きの工夫をしたことを好きな音楽づくりとしてとらえていたことがわかった。そのような視点は、3年生の「汽車は走る」で、景色や汽車のスピードと音との関係をとらえる方向に移行している。さらに、4年生では「ドローン」「パターン」「メロディー」「フィラ」の役割分担を主体とした音楽づくりや、手拍子のリズムによる音楽づくりにより、音のものの組みあわせの面白さに気づいている。5年生では、「ポリリズム」で、より複雑な組み合わせを学び、「和太鼓」で楽器の打ち方による音の組み合わせにも関心を寄せている。6年生の「チャイム変奏曲」ではひとつの旋律の創作だけでなく、旋律同士の組み合わせに視野を広げる活動となっている。

このように、児童の音楽づくりへの興味は、小学校の様々な音楽づくりの活動設定により、次第に音そのものや音の組み合わせ、音楽としての成り立ちに向かうようになっていることがわかる。

##### (2) 音楽づくりの器楽指導としての新たな役割

児童の記述から、音楽づくりが、【共通事項】の音楽要素を形式的に理解するだけでなく、自ら作品化する時の道具として使用することができる活動になっていることは明らかである。今回、それに加えて、音楽づくりが、器楽指導としての一面を合わせもっていることがわかった。

先にもあげたように、たとえば「チャイム変奏曲」では、様々な楽器で演奏することができたことを記述している児童が非常に多い。器楽指導といえば、既成の楽曲を演奏することが多く、その場合、楽譜を見て表現することが求められ、読譜力や演奏技能の面で、必ずしも希望の楽器を演奏できるとは限らない。しかし、音楽づくりは自分たちが創る即興表現が中心であり、ルールにしたがえば、どのように演奏しても間違いがない。そのためどの児童も比較的自由に楽器を選び、演奏することができる。このことは音楽づくりの特性であるのだが、今回、その楽器選択の自由性が、多くの児童にとって肯定的にとらえられていることがわかった。

#### IV. 全体的考察と今後の課題

高知大学教育学部附属小学校児童に対する調査により、児童たちは、音楽づくりにおける関心が段階的に音楽的になり、また音楽的用語を使用するだけでなく創作に活かすようになっている様子が明らかになった。そして、それら



はルールにしたがって行う音楽づくりで多く意識されている。さらに、器楽指導としての一面も併せ持つことがわかった。

高須は、1994年に次のように述べている。

「作曲活動すなわち音楽をつくるという行為は、子どもが音楽作品を形成する過程において、その作品を音楽的に一貫した意味のある構造とすることを志向しながら、関連する知的概念について考え、それを獲得し使用することである。しかもその活動は、所産の構造に収斂しながらも結果としての所産や知的概念の獲得のみを問題にするものではない。子どもは、知的概念の背景にある「成立過程」を、所産を形成する過程と重ね合わせることによってたどり、知的概念の持つ社会的文化的な意味を把握しながらその操作能力を獲得するのである」<sup>2</sup>

今回の調査における結果からは、児童らが、まさに音楽の要素を、知的概念として獲得するだけでなく、操作として活用していることがわかる。

しかし、音楽づくりの前身でもある創造的音楽学習においては、必ずしもこの知的概念の存在を実践の中で明らかにしてこなかった。たとえば、我が国に創造的音楽学習を導入した一人である山本は、創造的音楽づくりの系譜の中で創造的音楽学習の方向を展開した論文として、MENC(Music Educators National Conference)の機関誌からエリオット (David J.Elliott) らの名前をあげている<sup>3</sup>が、エリオットは「教師が考慮すべきポイントは、どの音楽的概念を教えるか、ではなく、生徒の音楽活動が進んでいく中で、いつ、どのようにして音楽的概念を挿入句的に(傍点省略)扱っていくのか、ということ」<sup>4</sup>ととらえていた。つまり、創造的音楽学習の系譜の中でも音楽的概念は位置づけられているが、実践における設定はきわめて不明だったのである。

我が国における創造的音楽学習がその流れを受け、さらに音楽づくりになったとすれば、本稿冒頭で述べたような効果音的な実践が多かったことは頷けることである。

平成20年学習指導要領による音楽づくりの見直しにより、高須のいう操作能力としての音楽的概念の獲得のカリキュラム化が課題になってきているともいえる。

そのような点から、稿をあらためて、高知大学附属小学校で行ってきた音楽作りの実績を精査していきたい。そして、今回の調査結果と合わせ、音楽づくりを中心としたカリキュラムを作成することが今後の課題である。

また、たとえば、八木は、本来、創造的音楽学習は、伝統的なパラダイムにおける実体論的な授業観に対して、関係論的な授業論を提案し得るはずであったと述べている。<sup>5</sup> そのような関係論的な授業になるようなテーマ設定や教材の提示についても検討を行っていきたい。

付記：本研究は、平成25年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究C（課題番号25381205、音楽科の学力のミニマムスタンダードに関する実証的研究、研究代表：山中文）と平成25年度国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業〔音楽〕研究（指定校：高知大学教育学部附属小学校）の一環として行ったものである。

## 資料 1

6年生	どんなところが好きか	どんな工夫をしたか	種別	
チャイム 変奏曲	1	ロックやサンバ風に変奏	ロック風にするためにリズムやメロディーを変えた	創作
	2	テーマをもらってやった	トリルをいれ、メロディーを変えた	創作
	3	改造して作った	グループで好きなように工夫した	創作
	4	木琴を使ってチャイムを変奏した	チャイム変奏曲で重音にし、サンバ風にした	創作
	5	キンコンカンコンのど	木琴を使った	創作
	6	変わったチャイムがおもしろかった	音を明るくして音を高くした	創作
	7	ドラムをやった(チャイム、ロック風)	たたくところを変えた	創作
	8	「～風」というように工夫した	いろいろな楽器を組み合わせた	創作
	9	チャイムのリズムに音をつけていく		創作
	10	ロックにあわせて皆で協力した	ドラムを使ってロック風にした	創作
	11		長調や短調のチャイム変奏曲	創作
	12	木琴などでチャイムをつかった	木琴をたたくリズムを変えた(強弱もつけた)	創作
	13	自分でアレンジして皆でつなげた	サンバ風でマラカスで表現、リズムを変えた	創作
	14	木琴でテンポを変えて変奏	木琴で音を変えて演奏した	創作
	15	木琴の音の高いところ	マーチ風にした	創作
	16	木琴の演奏、いろんな音の楽しさ	サンバ風、長調、ドラムを使って演奏	創作
	17	色々なチャイムを作った	サンバ風でマラカスやカウベルを使った	創作
	18	ロック、マーチ、ワルツに分かれていっせいにやる	始め暗く、真ん中山場、最後暗く、曲の流れ	創作
	19	色々な楽器を使い、メドレーにした	メドレーがうまくつながるように工夫した	創作
	20	皆でアレンジして考えて楽しくひけた	リズムや連打して工夫した	創作
	21	チャイムをロックでやった	リズムを変えた	創作
	22	チャイムを自分たちで作れた	いろいろな楽器を重ねた	創作
	23	チャイムをロック風などに変えたところ	音を重ねたりした	創作
	24	ロックなチャイムでツツチャのリズム	ロックにあっている楽器を選んだ	創作
	25	歌の振り付けをつけて、ロックな感じのチャイム		創作
	26	ロックみたいになった	たくさん楽器を使って明るいチャイムにした	創作
	27	音の重なり、楽器のリズムの違いを感じながら演奏	テンポ、雰囲気の違いを感じながら演奏する	創作
	28	与えられた楽譜で「～を変えよう」と言われた	リズムをかえて、タッカをつけて演奏した	創作
	29	チャイムよりもおとなしくて高い音だった	同じ音を繰り返してその音を強調した	創作
	30	いろいろなアレンジができたこと	いろいろな楽器をつかってつくった	創作
	31	色々	ハーモニーと強弱	創作
	32	自分たちでワルツのリズムを作った	リズムをかえて、装飾音符をつける	創作
	33	ロック風にはできなかったけど、おもしろかった	ドラムなどロックな楽器を使って作った	創作
	34	木琴とチャイムのリズムを打楽器と合わせた	ロックになるようにしたり、スタカートをつけた	創作
	35	自分の好きなメロディをつくる	リズムがかぶらないようにかえる	創作
	36	音の高低を考えると感じが変わった	本当のものに似せたり、変化をつけたりした	創作
	37	サンバ風、クラシック風、長調短調など色々なチャイムが聞けた		創作
	38	へんなチャイムだったから	イメージしてからやった	創作
	39	リコーダーや木琴などでひくと変な音になっておもしろかった		創作
	40	リズムを決めるのがおもしろかった		創作
	41	自分たちでチャイムをサンバ風にしたこと	リズムをサンバ風にしたこと	創作
	42	ロックなところ	ロックにした	創作
	43	マーチ風に作ったこと	音を重ねてつくった	創作
	44	チャイムの音	強弱をした	創作
	45	自分で音を決めてやるのがおもしろかった		創作
	46	色々なリズムが作れて楽しかった。	音の組み合わせを考えて工夫	創作
	47	ロック風にアレンジした	お題に合わせてより近くなるようにした	創作
	48	ロックのリズムを入れながらチャイムコールを作った。	音と合わせられるように練習をいっぱいした。	創作
49	練習	長調でチャイムを変奏する	活動	
50	普段とは全く違うかった	主な音は変えず、周りの音を変える	活動	
51	自己流につくれたこと	リズムを頑張った	活動	
52	いろんな事	いろんな事	活動	
53	音をならすこと	みんなでもとまててつくった	活動	
54	みんなでも木琴をならした	みんなとハーモニーをつくる	活動	
55	自由に考えることができる。	ロックのリズムを色々変えた。楽器を組み合わせた。	活動	
56	ふると「ボーン」とい音が出た楽器	曲の組み合わせ	楽器・創作	
57	色々な楽器でお題を変えてつくる	マーチで太鼓を入れて行進できるテンポにした	楽器・創作	
58	トーンチャイムをつかった	短調風の曲にし、木琴を強めにたたいた	楽器・創作	
59	色々な楽器をつかって面白かった	長調にした	楽器・創作	
60	トーンチャイムの音が大好き	リズムがずれないように、変な音をつくらない	楽器・創作	
61	楽器をいっぱい使っているような音が出た	強弱、音の重なり	楽器・創作	
62	いろいろな楽器でできる	リズムを変える、音を重ねる	楽器・創作	
63	いろいろな楽器がつかえた	テンポを決めて演奏した	楽器・創作	
64	いろいろな音を出した	テンポを決めたりした	楽器・創作	
65	いろいろな楽器の音の違いと音の重なり	3連符で、トライアングル、コンガ以外は同じ音を使った	楽器・創作	
66	いろいろな楽器を組み合わせで演奏すること	楽器で音をつくった	楽器・創作	
67	楽器で音をならしたところ	かこよくした	楽器・創作	
68	自分の好きな楽器でメロディやリズムを演奏した	リズムを考えて、途中でリズムやメロディをかえた	楽器・創作	
69	色々な楽器を使ってリズムにのりながら合奏できた	リズムをかえ、音を二回ならしながら演奏した	楽器・創作	
70	いろいろな楽器を使った	強弱をしたり、リズムを工夫して作った	楽器・創作	
71	いろいろな楽器を使って音楽をつくった	強弱	楽器・創作	
72	色々な楽器で、決まったリズムをできた	印象に残るものをつくれるようにした	楽器・創作	
73	色々な楽器を使って自由に班で音楽をつくった	音と音のはもりを考えて音楽を作った	楽器・創作	
74	いろいろな楽器をさわられたこと	強弱	楽器・創作	
75	木琴をたたいた	イメージにあわせた	楽器・創作	
76	ロックやサンバやワルツを木琴をつかってやった	いろいろな楽器を重ねて演奏した	楽器・創作	
77	大量の楽器に出会えた	音を重ねた	楽器・創作	
78	色々な楽器が使えたところ	ロック風のリズムを作った。	楽器・創作	
79	色々な楽器を使ってチャイムをいっぱいつくった	お題に合わせて速さやリズムをかえる	楽器・創作	
80	自由に楽器が使えること	色々な打楽器を使った	楽器	
81	チャイムの楽器を使うこと	わすれました	楽器	
82	いろいろな楽器をつかったこと	タンバリン、トライアングル、ピラフォンを使った	楽器	
83	色々な楽器をつかってリズムを決めてつくった	楽器をたくさん使った	楽器	
84	色々な楽器を使う		楽器	
85	いろいろな楽器でチャイムをつくったから		楽器	
86	いろいろな楽器で音を出したりできた	カードにあててはまりそうな楽器を選んだ	楽器	
87	木琴、鉄筋、太鼓をつかってチャイムをつくった	木琴、鉄筋でチャイムの響く音	楽器	
88	いろいろな楽器を使うことがおもしろかった	鉄筋の響くように工夫した	楽器	
メロディーづくり	1	木琴のソロのところと音を重ねあったところ	ハーモニーをつくり、リズムを変えた	創作
	2	木琴とタンバリンだけでメロディをつくった	タンバリンをつかってリズムを打った	創作
	3	色々な音が重なって一つの音になったこと	低い音と高い音が出る楽器をかけた	創作
	4	色々な木琴で音程の違いをひいた	リズムが合うような曲作りをし、のれる音楽にする	創作
	5	ワルツ(木琴)不思議な音が出た	たたく強さを変えてみた	楽器・創作
	6	いろいろな種類の楽器でハーモニー	メロディをどうしたらよいか考えた	楽器・創作
日本の祭りの音楽	1	「ソイヤツツ」というのがおもしろかった	リズムでバベルにした	創作
	2	ソイヤで音を出したのがおもしろかった	わすれました	創作
	3	さけぶところ	ソイヤを大きく言い、手拍子をつくった	創作
	4	手をたたいたところ	ソイヤなどを大きい声で言った	創作
詩にリズムをつけよう	1	鉄琴を使ってリズムをつくった	リズムに合わせた	創作
	2	自分たちで場所を決めてそれにあつたリズムをつけた	八分休符をいれた	創作
	3	いろいろな工夫をするのが楽しかった	友達と協力して音を再現できた	活動
川のイメージ	1	暗い音で川の流れを、明るい音で小鳥のさえずり	途中で大雨が来た表現	創作
	2	ミッションに挑戦できた	友達と協力した	創作
	3	川のやつがメロディが動くのがおもしろかった	楽器を重ねた	創作
汽車は走る	1	低い音の曲をつくった		創作
	2	ドラえもん風によつたところ	ドラえもん風でもアレンジした	創作
楽器	1	ゆかいだ	短調で強いたりたたいたりした	創作
	2			
サンバ 拍子を変える	1	みんなでも踊りをつけて踊ること	音を速くする	創作
	1	皆がいろいろな手拍子だったから	音と合わせられるように練習をいっぱいした。	創作

5年生	どんなところが好きか	どんな工夫をしたか	種別
4つの音で音楽づくり	1 リズムをつけたこと	リズムを使って強弱をつけた	創作
	2 リズムを作る、強弱、班で協力して結果を確かめる	強弱、色々なリズム、音を面白く響かせる	創作
	3 好きなリズムや強弱のできる	リズムの速度を変えたり、強弱	創作
	4 たたくところ	強弱	創作
	5 伴奏とメロディーがはまるところ	ABAで伴奏を変えた	創作
	6 速さ、強弱	強弱、リズム、他の班がしないようなところ	創作
	7 半音だからどちらにも近くない音がおもしろかった		創作
	8 低音と高音を合わせたとき	音を重なり、低音で合わせたりした	創作
	9 色々な音が混ざって面白かった	それをいかに表現できるか	創作
	10 イメージして音を重ねるところ	優しくひいたり強くひいたり	創作
	11 自分だけの音楽が作れるところ	いろいろな曲を組み合わせてきれいな曲にした	創作
	12 色々なリズムをとった	なめらか、繰り返し、間をあけたりした	創作
	13 木琴(黒鍵)で自分でつくった音楽をたたいた	自分で自由にメロディーをつくったこと	創作
	14 自分が好きなように工夫出来た	鉄琴で強弱を表した	創作
	15 皆でリズムやメロディーを楽器で演奏した	テーマによって吹く息や大きさを変えた	創作
	16 4つの役に分かれて班で協力	音がつながるように	活動
	17 木琴(黒鍵)でリズムをつくった	二人でいきが合うように	活動
	18 一人ひとりが考えて、きれいな音色が出せた	友達と音符を組み合わせた	活動
	19 友達のを合わせた	繰り返しで、1回目と2回目とで音を変えた	活動
	20 工夫するのが面白かった	たたくタイミングを変えてやった	活動
	21 木琴(黒鍵)で皆と音をだすこと	音の重なり	活動
	22 友達と一緒にアイデアを出した	強弱、音を重ねる	活動
	23 友達と一緒に面白いリズムを作った	同じリズムを遅らせて演奏した。強弱	活動
	24 木琴(黒鍵)の音が綺麗だし、メロディーを作りやすかった	強調するときに、少し強くたたいた	活動
	25 綺麗な音楽を作るために工夫したり、マネしたりした	リコーダーでなめらかな音楽になるよう体を動かしてなめらかに吹いたり、木琴(黒鍵)で綺麗な音ができるように、強く叩いたり弱くたたいたりした	活動
	26 班で話し合いながら音楽をつくった	鈴やタンバリンで音楽を盛り上げた	活動
	27 自分たちでやらせてくれた。皆で意見を出しあててできた	始めと終わりに鈴をつけ、途中でパートを上と下に分けた	活動
	28 その場にあった良い楽器を使った	使い方をゆくりした	楽器・創作
	29 すごく綺麗な音色だから	綺麗な音を出すために家で練習した	楽器
ポリリズム	1 好きなリズムを作って音楽を作った	盛り上がり、明暗、終わり方	創作
	2 自分でリズムを考え、皆で演奏する	楽器によってリズムを分けること	創作
	3 色々なリズムを使ったので不思議な感じだった	重なりや強弱や速さを工夫した	創作
	4 自由にポリリズムを作った	強弱、重なり、速さ	創作
	5 リズムのってやったこと	いい音になるようになめらかにやった	創作
	6 好きな打楽器を選べた	班でリズムが合うように、気を配る工夫	活動
	7 最後のリズムを皆で決めたこと		活動
	8 友達と一緒に打楽器をやった	協力して、大きいところをさらになめらかに	活動
	9 班の皆と楽しく演奏した	リズムを一人ひとり変えた	活動
	10 色々な楽器を使ったところ	重なりや速さを工夫した	楽器・創作
	11 色々な楽器を演奏できた	周りに合う楽器を選ぶこと、強弱	楽器・創作
	12 楽器をさわって作ったのが面白かった	高くなったり低くなったりを意識してリズムを作った	楽器・創作
	13 好きな楽器を選んで、グループでどんなにするか話し合った	グループでリズム合わせ、強弱	楽器・創作
	14 色々な楽器にふれて、オリジナルな音楽が作れた	強弱、音楽の音の表現を曲の感じでやった	楽器・創作
	15 いろいろな楽器を使って、リズム作りをした	まわりの音と合わせながら、なめらかに	楽器・創作
	16 使ったことのない楽器をつかえた	他の人と合わせて、いい音になるようにした	楽器
和太鼓	1 リズムを作った。強弱を工夫した	リズムを工夫した。途中でメロディをかえた	創作
	2 好きなように叩けた	皆が作っていない、おもしろい曲	活動
	3 太鼓(和太鼓)をつかった事がなかったから	皆が考えていないようなメロディー、繰り返し	楽器・創作
	4 しめ太鼓(和太鼓)で自分の思うリズムをたたけた	他の人と違うリズムを考えた	楽器・創作
	5 使ったことのない楽器をつかった、皆で考えて組み合わせた	「カッ」を途中に加え、休みの時に他の楽器を入れた	楽器・創作
	6 友達と交代しながらたたいた	色々なリズムをいれた、重なり、強弱速さ	楽器・創作
	7 太鼓(和太鼓)をたたく合図が難しかったけど面白かった	音の高低で明暗をつけた	楽器・創作
	8 和太鼓(和太鼓)	強弱	楽器
	9 たたくところ	ふちと面を二人でわけてリズムをつくった	楽器
	10 和太鼓(和太鼓)、木琴(黒鍵)をたたくこと	強弱	楽器
	11 太鼓(和太鼓)をつかった事がなかったから	強弱	楽器
	12 ドンパンするところ	強さ	楽器
雪の踊り	1 木琴(黒鍵)で雪を表現する。一人ひとりメロディーをかえる	鉄琴を使う、音の高低を利用する	創作
	2 雪のテーマで音の大小や重なり	木琴(黒鍵)・鉄琴の特徴を生かして、グループで考えた	創作
	3 太鼓(和太鼓)をたたいた。木琴(黒鍵)で最後のしめをした	最後にどんどん小さくして終わりを表現	創作
	4 適当にならして音楽をつくった	のぼたしりすー	創作
	5 自由に作って音楽になった	皆が楽しく、気持ち良く、おだやかにになれるように	創作
	6 班の皆で音楽を自由に作れたところ	テーマが雪なので、寒さをイメージして工夫	活動
	7 鉄琴などの綺麗な音がよかった	いろいろな音を組み合わせた	楽器・創作
	8 鉄琴で最初に「キンキン」とした	楽器をたたくことがあった	楽器
打楽器	1 リズムを考えるところ	少し強い音をドーンといれた	創作
	2 リズムを選んで演奏したこと		創作
	3 色々な知らない楽器をつかえた	色々なリズムを繰り返した	楽器・創作
	4 打楽器を演奏したこと、皆と協力したところ	パランスがよくなるよう、終わりの音をひくしたり、ゆくりにしたりした	楽器・創作
	5 初めて使った楽器があった	グループ皆で違う楽器を使った	楽器
いろいろな楽器	1 いろいろな音を出せた		創作
	2 「タッカタッカ」というところ	強弱、リズム	創作
	3 いろいろなリズムを組み合わせてたりしてメロディをつくった		創作
	4 いろいろな音がでるから	タンタンとか手でリズムをつけた	創作
	5 いろいろな楽器をつかった	自分で決めて色々な楽器を使った	楽器
音づくり	1 どれも楽しい音楽が色々な所から聞こえてくるのが面白かった	小さい音から大きしたり、大きい音から小さくしたりした	創作
	2 班の皆それぞれ楽器を変えて音楽をつくった	高い音は低い音の間で音を入れた	創作
	3 皆のを聴くことと、自分で楽しく作る場所	自分の友達のメロディーが合うようにした	創作
	4 木琴(黒鍵)と鉄琴をつかえたのが楽しかった	高音と低音を組み合わせた	楽器・創作
班で協力	1 皆のを聴くことと、自分で楽しく作る場所	自分の友達のメロディーが合うようにした	創作
	2 班で色々なリズムを作ったところ	楽しめるリズム	活動
	3 皆で発表したこと		活動
手拍子	1 できたらやってみたこと		活動
音階づくり	1 自分たちで変なリズムを作った	Bをゆくりした曲に変えた	創作
鍵盤ハーモニカ	1 ハーモニカで音楽を作った	たのしく作った	活動
日本のお祭り	1 作ったこと	ウンやタンを隙間にいれて音楽を変える	創作
その他	1 他の班の曲がおもしろかった	リズムや強弱	創作
	2 隣の人と音符を並べて遊んだ	音を組み合わせること	創作
	3 班で分担したこと	一人ひとり違う音で1つの曲ができる工夫	活動
	4 皆と協力してためすところ	強弱、かけ声	活動
	5 色々な楽器を使った	強弱、リズム、フレーズ、ハーモニー、メロディやなめらかさ	楽器・創作

音楽づくりを中心としたカリキュラムの基本的研究(山中・中山・間島・渡邊)

4年生	どんなところが好きか	どんな工夫をしたか	種別
黒鍵の音楽	1 黒鍵の音楽でパート作り、色々なイメージでつくる	色んな音を使う	創作
	2 黒鍵の音楽	最初にドローンと3回鳴らす	創作
	3 音楽を作る時	リズム	創作
	4 GPでゼロからメロディ作成	メロディのスピード	創作
	5 ドローン、パターン、メロディの役割	最初は音が大きくなって、最後はどんどん小さくなった	創作
	6 終わる所を決めた	フィラーを入れる所	創作
	7 役割を決め楽しく一生懸命	初めはタンタンタンから始まる。一緒に終わる	創作
	8 色々な役割ができた	速さ	創作
	9 色んな音が重なる	鳴らし方を変えた	創作
	10 曲やイメージ	メロディを楽しした	創作
	11 黒鍵の音楽	トレモロを使って終わり感を出した	創作
	12 役割を決めてつくった	黒鍵の音楽のドローン、パターンメロディの順にやっていく	創作
	13 黒鍵の音楽でメロディづくり		創作
	14 役割決め	速さの調節	創作
	15 即興	音を響かせた	創作
	16 音の強弱		創作
	17 フィラーで飾り付け	始めと終わりに音を付ける	創作
	18 役割ごとに責任、自由にいるんところをたたくた	終わら方。メロディの出だしや変化	創作
	19 黒鍵の音楽でメロディづくり	音は同じでリズムを変えた	創作
	20 黒鍵の音楽、協力する	他者の真似	創作
	21 役割決めて協力する、自由に決める	飾り付け、最後は終わらしく	創作
	22 音を階段みたいにした、速さの変化	音の高低の変化	創作
	23 低い音だけでやった	低い音のみでやった、違う音を合わせる	創作
	24 色々な音が組み合わさった	ラから上の音に行くのと下の音に行く	創作
	25 変な鍵盤を弾けばおかしな音が出る	ほんとの曲にしようとした	創作
	26 他者の演奏を聴きあう、みんなで演奏	高い音や低い音を組み合わせてつくる	創作
	27 リズムは同じでも音が違う	音を1つずつ変える	創作
	28 黒鍵の音楽で強くと必ず変な音楽	順番関係なくした	創作
	29 黒鍵の音楽の不思議な音	ちよとずつかえる	創作
	30 他者の音楽の役を自分の音楽の役と合体させた	自分は高い音で他の人は低い音	創作
	31 黒鍵の音楽だけで色々な音ができる	色々な音	創作
	32 黒鍵の音楽はどの音から始めてもいい曲になる	最後の音を伸ばす	創作
	33 黒鍵の音楽だけで音楽がつくれる	黒鍵の音楽だけを使う、できるだけ近い鍵盤を使う	創作
	34 黒ケンでメロディづくり	伴奏をつけた	創作
	35 自由なところ	おもしろくした	創作
	36 数が限られているので音階の場所を考える	班で人数を分けて色々な音楽を組み合わせる	創作
	37 つくったメロディがおまつりみたい	できる音を入れる	創作
	38 重ねてみたり、速さを変える	速さ、重ねて強く	創作
	39 黒ケンでメロディづくり、みんなで合わせて弾いた	飾り付け、強弱、音をもどした	創作
	40 黒鍵の音楽で自由にできた	みんなが気付かないようなことをする	創作
	41 リズムにきまりをつくった	ときどき音入れた	創作
	42 黒鍵の音楽を初めて使ったこと	伴奏をつけた	創作
	43 黒鍵の音楽だけで音楽をつくった	みんなが合うように簡単な工夫	創作
	44 自由に弾く、黒鍵の音楽だけで音楽になる	最後の所で最初の音に戻ってくる	創作
	45 黒鍵の音楽だけで自分をつくれた	速さの調節、なめらかにしたりした	創作
	46 自由に演奏	終わる所で合図を決めた	活動
	47 みんなで音楽づくり	音の高低	活動
	48 黒鍵の音楽の不思議な音	班で色々な音楽を考えた	活動
	49 みんなでつくる	伴奏をつけた	活動
	50 みんなの発想		活動
	51 自由につくる	とちゆうでおまけを入れた	活動
	52 自分の担当の所がある	順番でなく、ランダムにやった	活動
	53 普段触れない楽器を使ったから	飾り付けでにぎやかに	楽器・創作
	54 黒ケン之音	リズムの中にタンタンと言う	楽器
手拍子でリズムづくり	1 自由に作ってみんなに発表	追いかけてこ	活動
	2 4拍子だったので色々な発表が聞けた、自由につくる	自由にできる	活動
	3 手拍子でリズムづくり	音の速さ	創作
	4 他者の班のメロディを聴いた時	色々な音の組合せ	創作
	5 本当の音楽とまた違う音楽になったところ	他者に分かるように	創作
	6 リズムづくり	へんな曲になった	創作
	7 適当に強いても音楽ができた		創作
	8 手拍子でリズムづくりのリズム	ペアでタンタンターターを合体	創作
	9 手拍子でリズムづくりでリズムづくり	速さの調節	創作
	10 順番に手を打っていく	違う音を入れる	創作
	11 リズムに合わせて楽しく。色々な楽器で自分たちでつくった。	おいかけてこ、リズムの組み合わせ	創作
	12 自分でリズムをつくったこと	身近にある曲を基にした	創作
	13 自分でつくる	強弱、速度の変化	創作
	14 手でたたいたり友だちとタッチ	強弱、速度の変化	創作
	15 リズム	大きさ	その他
動物のイメージ	1 「猿も木から落ちる」のイメージを表現	縄で渡るところは「ソ」、落ちる所は「ド」(高)〜「ド」(低)	創作
	2 動きなど想像して演奏	猫が眠っている所はゆっくり優しく	創作
	3 動物のイメージ	音を速くしたり、高くしたりしてどんな動物が表現	創作
	4 動物のイメージを黒鍵の音楽でやる	ヒーラの飾り付け	創作
	5 他者の動物の表現を聴けた	楽しい感じを表す	創作
	6 動物の表現を表した音楽づくり	班でどんな音か考えた	創作
	7 黒鍵の音楽、好きな動物のイメージをドローンなどを使ってする	最初は小さく楽しそうに、最後は大きく怖そうにドローンを使った	創作
	8 動物のイメージ	やさしくなめらかに	創作
	9 役割決め	速さを速くした	創作
	10 本当に動物いそう、聞いていて楽しい	動物のイメージに合わせた	創作
	11 みんな上手でおもしろい音楽ができた	かわいらしく	創作
	12 いろいろな音		その他
太鼓	1 太鼓をたたく		活動
	2 太鼓でリズムづくり	叩く力を変えた	創作
	3 太鼓の大きな音を生かしたリズム	太鼓をたたく力	創作
	4 音やテンポ	休符や音符をつくった	創作
	5 音	叩き方を変える、音量を変える	創作
	6 出だしを少しずつ変える	出だしを少しずつ変える、音を変える	創作
班での音楽づくり	1 自由に作った	リズムを組み合わせた	創作
	2 鳴らし方とスピードを変えた所	スピードと鳴らし方	創作
	3 音が違うのにいい音楽ができた	始まり終わりで合図をする	創作
	4 自由に作る	始まりと終わりにチャチャという	創作
楽器でメロディづくり	1 実際に演奏したらどんなふうになるのかというところ	飾り付け	創作
	2 色々な楽器の音が混ざっていた	きれいな音をつくる	創作
	3 楽器でつくった	おもしろくつくった	楽器・創作
	4 飾りを付けたこと	飾りとメロディの両立	創作
リズムづくり	1 机の上でタンタンと叩きリズムを追いかけた	追いかけたリグループでリズムを組み合わせた	創作
	2 自由に作った	速く弾いた	創作
会話の音楽	1 中身や会話のリズムが色々ある	リズム	創作
	2 音楽で会話	怒っているときは低い音、嬉しいときは高い音	創作
鍵盤ハーモニカ	1 鍵盤ハーモニカを1つ飛ばしてふくと変わったメロディになる	音を重ねてリズムづくり	創作
	2 鍵盤ハーモニカで音をつくる		その他
おはやし	1 伝統的な音	途中で音を切った、飾りだけで弾いた	楽器・創作
	2 太鼓をたたいたばかり強い、大きな音	太鼓だけのところが日本って感じ	楽器
音楽に飾り	1 音楽に飾りを付ける	音楽に言葉を入れた	活動
きらきら星	1 いろいろな音楽ができた	星のイメージをかわいいう音にして表現	創作
メロディづくり	1 音を重ねてメロディづくり	色々な楽器を入れる	創作
リコーダー	1 シンナーだけで自分でできた		その他
チャイム	1 色々な高さでチャイムがつくれた	黒鍵の音楽でつくった	創作
パパパの二重唱	1 急に音が速くなったり遅くなったり会話になるところ	何回もみんなで協力した	活動



3年生	どんなところが好きか	どんな工夫をしたか	種別
汽車は走る	1 曲を自由に作る		創作
	2 曲をかえたり、つくったりした	ア、イ、ウの中で吹いたり吹かなかったりした	創作
	3 リズムを作る	高い音と低い音にした	創作
	4 曲を自由に覚えてつくった	ア、イ、ウの中で吹いたり吹かなかったりした	創作
	5 自分たちの班でつくって、みんなに発表	高い音や低い音でひいて、景色が変わったようにした	創作
	6 景色をつくる		創作
	7 景色によって、決めた踊りがある	みんなが楽しめる	創作
	8 自由にリズムをつくる	トンネルをくぐると場所が変わるところ	創作
	9 色んな音をつくる	強くひいたり、弱くひいたりした	創作
	10 ア、イ、ウに分かれて素敵な曲をつくる	音を強くしたり弱くしたりした	創作
	11 リズムがすこかった、みんなで発表した	様子で音楽をかえた	創作
	12 ア、イ、ウに分かれていた	様子で音楽をかえた	創作
	13 自分で曲をつくって発表した	様子で音楽をかえた	創作
	14 リズム	高い音や低い音にした	創作
	15 電車によって色んなところに行けて、目をつぶっても景色が見えそう	色んな人に景色を教えるため、滑らかな感じにした	創作
	16 いろいろな歌をつくる	リズムよくつくった	創作
	17 どんどん景色が変わるところ	楽しい感じで工夫	創作
	18 曲	1つ1つ、順番に工夫	創作
	19 グループで汽車が走る景色を想像すると	汽車は走るで音楽を聴いた時、景色が分かる	創作
	20 景色がよく分かる	景色が変わるところ	創作
	21 森などをつくって、ピアノで音楽をつくったこと	いろいろな音を使った	創作
	22 色んな楽器が出てきた	いろいろな音を使った	創作
	23 いろいろなリズムがある	音をかえたり速くしたりした	創作
	24 色んな音を合わせる	高さや低さを合わせる	創作
	25 メロディをつくる	交代しながらした	創作
	26 色んな音を合わせる	音の高さと低さを合わせる	創作
	27 風景を考えられる		創作
	28 いろいろな組み合わせる形	高い音と低い音の違い	創作
	29 音楽に合わせて汽車が走っているから	低い音と高い音	創作
	30 いろいろなリズムにいろいろな動きを付けた	いろいろなリズムに色々な動きを付けた	創作
	31 音楽で踊りをつくった	他のグループと重ならないようにした	創作
	32 リズムが良いところ、速くしたり遅くしたりする		創作
	33 音が大きくなったたり小さくなったたり、強弱がつく	色んな音や、山や川を置いて頭に浮かべながらやった	創作
	34 いろいろな景色を想像できる	グループであれが楽しめたと声をかけあった	創作
	35 景色をかえて踊るところ	景色や言い方を変える	創作
	36 色んな場面をつくった	速さをかえた	創作
	37 リズム	どう合わせるか、合わせられるところを工夫	創作
	38 音がABAになっていった	朝はトライアングルで目覚まし時計、足音はマラカス、汽車の音はマラカス	創作
	39 場面を3つ作ってその場面に合うメロディを考える	1つずつ違うメロディを探して、その場面に合わせる	創作
	40 音楽	いろいろな景色を音楽でつくった	創作
	41 いろいろな場所の景色を想像する	同じ音を重ならないようにする	創作
	42 みんなで曲をつくった	音の高低	創作
	43 音の高低や速さを変える	音を変えたり速さを替えたりした	創作
	44 みんなで合わせてやった	人数、メロディ	活動
	45 ピアノでトンネルや森を再現した	ドレミなどの音をリズムよくふくこと	活動
	46 グループで音に合わせて	低い方で吹いたり、高い方で吹いたりした	活動
	47 汽車は走るの場面を入れ替えてやった	みんなで合わせてやった	活動
	48 色んなリズムが交わっている	みんなで合わせる、音の大きさ、音の高低	活動
	49 メロディオンで演奏	手拍子をして、リズムを出した	活動
	50 みんなで合わせて	題名に合っている音楽をつくった	活動
	51	手拍子	活動
52 演奏をする	おもしろく楽しくなるようにした	活動	
53 みんなで演奏を組み合わせて演奏した	色んなリズムをつくった	活動	
54 いろいろな楽器で演奏する	きれいなリズムと楽しいリズムを合わせた	活動	
55 いろいろなことをやった	間違わず一生懸命した	活動	
56 音楽をつくるとき、トライアングル、カスター、すずを使った	リズム	楽器	
57 リズムがたたく	高く低く	その他	
ウンパッパ	1 リズム、決めた踊り	言葉通りにつくった	創作
	2 踊りをつくったり踊ったりする、歌をつくったり弾いたりする	リズムに合わせて、回ったり分かれたり手を叩いたりした	創作
	3 踊りをつくる、歌をつくって弾く	まわる、手を叩く、ジャンプ	創作
	4 ウンパッパと言う	ウンパッパと言うときに、手をチームで打ったり回る向きを変えたりした	創作
	5 みんなで覚えて、人の真似をしていいものをつくった	歌の雰囲気に合わせて踊りをつくる	創作
	6 自分たちでつくった	音楽に合わせて動作を変えた	創作
	7 手をうってウンパッパという	手をリズムに合わせてうったりした	活動
	8 広場で町で公園の	手を後ろに回した	活動
	9 ウンパッパと手を叩く	リズムに合わせて	活動
	10 みんなで手を繋いで回り、円の中の人が立つ	足踏みや手を叩いた	活動
	11 最後の決め、チャチャマンボのポーズが決まった	手を挙げて足を出した	活動
	12 自分たちでつくって、下って上るところ	班で考えた、リズムや踊りや歌	活動
	13 リズムで弾む	言葉通りにやった	活動
	14 すわって立って手を叩く	ウンパッパは休みだから座り、パッパは手を叩いた	活動
	15 みんなで踊る		活動
	16 踊りをつくる	みんなの手を繋いで回る	活動
	17 みんなで協力してできるところ	ウンパッパで手を叩く、きみとぼくとはのときとぼくとという	活動
	18 リズムが良い	踊る人と手を合わせて叩く、男女別々に立つ	活動
	19 みんなで踊りを付けて歌う、リズムを叩く	踊る人の分担、踊りを楽しくした、パッパで手を叩く、ウンパッパの後をなめらかにした	活動
	20 みんなで振付を考えて踊った	振付を状況を考えて考えた	活動
	21 リズムで手を叩く	踊りに工夫	活動
	22 踊った	なるべくみんなと違うようにした	活動
	23 踊った	なるべくみんなと違うようにした	活動
24 輪になって回るところ	回る向きを変えた	活動	
25 リズムに乗れて楽しい、班員ともっと仲良くなれる	リズムの曲に合わせて	活動	
26 リズム	どう合わせるか、合わせられるところを工夫	活動	
27 みんなで手を叩いて回った	みんなで回ってリズムをとった	活動	
28 輪になって踊りをつくったり手を叩いたりする	楽しく回る	活動	
29 手を一緒に叩く	手はいつも動かした	活動	
30 みんなで振付を考えて、ペアで踊った	踊るときにテーマの踊りを見つけた	活動	
31 音楽がおもしろい		その他	
32 リズム		その他	
33 友だちの歌	ウンパッパウンタッタ	その他	
おまつりワッショイ	1 歌詞、中心部	手拍子のリズム	創作
	2 色んなリズムでやった	色んなリズムでやった	創作
	3 つくる	掛け声を工夫	創作
	4 自分たちでリズムや手拍子をし、発表	おまつりらしく、楽しそうにリズムを考えた	創作
	5 掛け声がおもしろい	掛け声を大きな声にした	活動
	6 曲がよい	リズム	その他
	7 ワッショイという		その他
ゆかいな時計	1 こわれた曲のところ	リズムづくりを感じる	創作
	2 音楽に合わせて踊ったりした		活動
	3 最後の方		その他
打楽器で音楽づくり	1 いろいろな打楽器でリズムや音楽をつくった	そりすべりに似せた、ABAにした、減らしたり増やしたりした	創作
	1 みんなで楽器を使って掛け声を考えた、楽しい曲	みんなで息を合わせて一生懸命した	活動
どれみうた	1 ドレミファソラシドのところ		その他
にんげんっていいな	1	リズム	その他
フルーツケーキ	1 菓物をかえるところ		創作
虫の声	1 リンリンシャカシャカ	タンバリンやすずで工夫	創作
赤おにと青おにのタンゴ	1 自分たちでタンゴを作る		創作
おおブレネリ	1 上下になって忙しい		その他



2年生	どんなところが好きか	どんな工夫をしたか	種別	
アイアイの踊り	1	踊りが自分で作れて嬉しかった	曲に合わせるように工夫した	創作
	2	自分たちで踊りを自由に決めて踊る	アイアイというところで猿の真似、きのはのおうち	創作
	3	前で班であいあいのおどりをした	大きく体を動かした	活動
	4	アイアイというところ	アイアイというところで猿の真似	活動
	5	みんなでおどったところ	アイアイというところで猿の真似、きのはのおうち	活動
	6	自分たちで踊りを自由に決めて踊る	皆と一緒に踊れるように	活動
	7	班と一緒に踊ったところ	手をぶらぶらさせた	活動
	8	「アイアイ アイアイ」のところ	班で話し合っって色々な工夫をした	活動
	9	班員と手をつなぐところ	皆が楽しんでくれるように	活動
	10	踊ったところ		活動
	11	班の皆で仲良くできた		活動
	12	意見がばらばらで、本番間違えたところ		活動
	13	おもしろかった	リズムの踊りを工夫した	活動
	14	振り付けがおもしろい	みんなと違う踊りを考えた	活動
	15	みんな違う踊り		活動
	16	あいあい面白かった		活動
	17	前で班であいあいのおどりをした	大きく体を動かした	活動
	18	みんなでおどったところ		活動
	19	アイアイというところ	アイアイというところで猿の真似	その他
キラキラ星	1	音符を線で引くところ	ドからシをグループでつなげること	創作
	2	班でのメロディー作り	GDでどんな工夫か考える	創作
	3	リズムを作ること	おもしろいリズムがあるとこ	創作
	4	自分の手でたたく	リズムの乗り方	創作
	5	リズムをつくること		創作
	6	リズムをつくること		創作
	7	自由にリズムをとるとこ		創作
	8	リズムに乗ったとこ		創作
	9	綺麗な音が出たところ	メロディをつなげるとこ	創作
	10	いろんな音があった	メロディーを作るところ	創作
	11	ドレミファソでつなげるところ	ドレミファソが難しかった	創作
	12	いろんな曲ができた		創作
	13	音符作りが楽しかった		創作
	14	「へいへい」というところ	みんな音楽を繋げていくとこ	活動
	15	リズムに乗るとこ		活動
	16	星を使った音楽づくり	鍵盤ハーモニカで綺麗に吹いた	楽器・創作
	17	教科書の中のドとシ	鍵盤ハーモニカで綺麗に吹いた	楽器
	18	歌詞がおもしろかった		その他
	19	最初の部分がおもしろかった		その他
勇気100%	1	リズムを作ること		創作
	2	リズムをつくること		創作
	3	勇気100%で手を叩く時	手を横にして叩いた、はねた、速く回った	活動
	4	勇気100%のボックス	「がっかりして」で手をまげて顔のところに置いた	活動
	5	おどるところ	皆で1つずつ作った	活動
	6	曲がおもしろい	「ウオウウオウ」お尻をふる工夫をした	活動
	7	「そうさ100%勇気♪」のところ	「君はどかないで」指をさした	活動
	8	「そうさ100%勇気♪」のところ		活動
	9	繰り返すところ		活動
	10	「へいへい」というところ		活動
	11	元気に歌って踊るところ	大きな声を出す	活動
	12	おどりのはじめ	大きい声と小さい声	活動
	13	腰を振ったところ		活動
	14	勇気100%で手を叩く時	手を横にして叩いた、はねた、速く回った	活動
	15	勇気100%のボックス		活動
	16	おどるところ	「がっかりして」で手をまげて顔のところに置いた	活動
おもちゃのチャチャチャ	1	おもちゃがしゃべるところ		活動
	2	「チャチャチャ」のリズム		活動
	3	手をたたくところ	大きくしたり、手を組んだりするところ	活動
	4	チャチャチャってするところ	キラキラさせたところ	活動
	5	手をたたいたとこ	楽しく笑顔で踊った	活動
	6	ダンスをみんなで踊ったこと	鍵盤ハーモニカをひいた	活動
	7	いろんなリズムがあった	一人で歌った	活動
	8	みんなで踊ったところ		活動
	9	リズムにのって手をたたく		活動
	10	ひざをたたいたところ		活動
フルーツケーキ	1	音が大きくなったり小さくなったりするところ	手を大きくたたいたとこ	創作
	2	色々な楽器で演奏するところ	間違えないように工夫した	楽器・創作
	3	いろんな楽器でリズムをうったこと	いつ楽器を打つか工夫した	楽器・創作
	4	いろんな楽器をしたこと	間違わずにやった	楽器
	5	繰り返すところ		その他
トトロ	1	歩いて友達とタッチ、音楽が終わったら座るところ	楽しく	活動
	2	「トトロトトロ」のところ	グループでリズムとメロディを合わせた	活動
	3	「トトロ」のところ		その他
ディベルティメント	1	音が大きくなったり小さくなったりするところ	踊り	活動
ともだち賛歌	1	リズムを考えてダンスを作る	リズム	創作
どれみのうた	1	自分たちで作るところ	声の大きさ	創作
ドレミのキャンディー	1	歌詞がおもしろかった		その他
赤おにのタンゴ	1	リズムに合わせて踊る		活動
かっこう	1	「かっこうかっこう静かに」のところ		その他

1 津田正之「『音楽づくり』の授業の充実」『初等教育資料』877、2011/9月号、東洋館、2011、50頁

2 高須一「創造的音楽学習における『創造性育成』の再考—創造性育成に関するJ.F.Paynterの見解を通して」『音楽教育学』第24-2号、日本音楽教育学会、1994、25-36頁

3 山本文茂「創造的音楽作りとは何か② サウンドアンドサイレンスを考える」『季刊音楽教育研究』31号、音楽之友社、1982年、14-15頁

4 森薫「『音楽的概念』に関する論争の再検討—ジョン・デューイーの美的経験論を手掛かりとして—」音楽学習学会誌『音楽学習研究』第5巻、2009、23頁

5 川村有美、八木正一「創造的音楽学習に関する授業論的検討」埼玉大学紀要教育学部（教育科学）54(2)、2005、50頁